

泉北ニュータウンの孤立と地域をつなぐ助成事業 申請団体一覧

	団体名称	申請事業名	所在地	事業概要
A型				
1	NPO法人 福祉ワーカーズほーぶ	福祉コミュニティモール開設事業	大阪府堺市南区	1.身体的、精神的に外へ出にくい状況にある人が、気軽に出かけられ、他者と繋がる場所を作る 2.誰かの役に立ちたいと思っている人が、思いを実現できる場所を作る 3.街に暮らす人が主体となって運営し、困り事は、助け合い、話し合いながら解決している場所を作る 上記を実現させる場所として、福祉コミュニティモールを開設する。
2	社会福祉法人 ライフサポート協会	社会福祉法人ライフサポート協会 ～MY MATHER VARIETY HOUSE (我がママにごちゃませな家)～	大阪府大阪市住吉区	我が国では高齢化が進み郊外では若者が減少し、高齢化した地域が多くなってきている。堺の泉北地域においても同様で、かつては賑やかだった地域ではあるが、現在では高齢化率は35%～40%とも言われ、全国平均の28%を大きく上回っている。府営住宅などの空き部屋には外国人にルーツを持つ方の入居も見られ、旧の住宅街は空き家や高齢者のみの住居が目立つ。新しく移住してくる人もいるが、新しくできた分譲地への移住が多く、旧の住宅街とは自治会が違い、生活の在り方も多様なため、地域の活性化には繋がっていない。駅前では、古い団地などを解体し新しくマンションなどを建設し、新しく移住者を増やすことで地域の活性化を謳う節もあるが、現住する方々の生活の向上を考え地域の繋がりによる活性化が進まない、人口の流出は止めることができないと考える。地域コミュニティの再構築はこの地域で暮らし続けるしかない方、住み続けることを望む方にとっては重大な問題である。もともと治安も良く自然も多くある素敵な地域であるため、その魅力を再確認することで地域の活性化はできると考える。現在の地域社会に応じた新たなコミュニティの構築が必要不可欠である。 現在社会においては、多様性を認めることや個人の尊重はとても重要視されている。しかしながら、個人が尊重されるほど地域連携は難しく面倒くさいものになっていく。故に個人を尊重しながら多様な生活習慣や文化を認め、共助の地域を作っていくより、個人の幸せのみが優先されてしまっていないだろうか。だが、その個人の幸せさえ、今ある居場所を失えば消えてしまう。 本事業では、住民一人ひとりの個性に焦点を当て、その個性を十分に発揮できる場所を提供し、その個性こそが地域住民の活性化につながる事業を目指したいと考える。各々が我がママに個性が発揮でき、様々な個性がごちゃまぜに溢れる家(場所)の設立を第一の目標とする。「人は必要とされることを必要とする」その個性を繋げることが地域の活性化に繋がるという一面があるということと一緒に体験していきたいと考える。いつでも帰ってこれる実家であり母がいるような温かい地域の場所を地域住民と一緒に考え作っていききたいと考える。
3	株式会社 フットステップ	コミュニティパーク あしあと	大阪府堺市北区	・コミュニティパーク あしあと コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が発令された為、学校教育のバランスが崩れ、不登校となる児童が増加しています。 特に現在、小学3年生、中学校3年生となる児童(第一回目の緊急事態宣言発令時、令和2年4月より新1年生)においては、進学時より緊急事態宣言が発令されたことにより通常の学校生活が送れない期間が続いていた為、困り知れないストレスを感じ、不登校の児童が増加傾向となっております。 学校にも行けず、児童館やフリースクール、障がい児通所支援事業も利用できず、社会から孤立している子供たちが少しでも外部との関わりや学習に安心して取り組めるコミュニティパークを開設して、少しでも子供たちが社会に参加できるよう支援していきます。 定員：10名/日 対象：6歳～18歳の児童 営業時間：9時から17時 営業日：月曜日から金曜日 ・生活介護 あしあと 同敷地内に障がい者支援である生活介護事業を併設することで、現在課題となっている、重度の障害を持つ若者が安心して通所できる施設不足の解消に繋げ、デイを必要とする若者だけではなくそのご家族のレスパイトとしても機能します。 また、上記生活介護事業の収益に関して定員20名に対して月間700万円程の売上、約250万円ほどの利益が見込まれる為。上記のコミュニティパークの安定した運営をするに至って公費事業となる生活介護事業は必須と考えております。 定員：20名/日 対象：18歳～65歳の障がいをお持ちの若者 営業時間：9時から18時 営業日：月曜日から土曜日
B型				
4	特定非営利活動法人 志塾フリースクールラシーナ	不登校の子どもと地域の子どもがゆるくつながる居場所事業 泉北ひみつ基地	大阪府富田林市	1. 不登校の児童生徒の学習支援、体験活動事業(フリースクール) 2. 小学生～高校生が宿題や自習ができる駄菓子屋カフェの開設 3. ドリンク代が子どもたちの居場所運営資金になる駄菓子屋バーの開設
5	特定非営利活動法人 キリンこども応援団	地域と子供たちを繋げる居場所を活用した社会的孤立を防ぐ事業 ～非認知能力の視点で子供の成長に寄り添う～	大阪府泉佐野市	貧困・ひきこもり・不登校の課題を抱える子どもを含む地域の子ども・保護者に対して、安心して過ごせる居場所を通して支援を行い、社会的孤立を防ぎます。 日中は不登校の子供たちの居場所・学ぶ場所として、夕方からは地域の子供たちが過ごせる居場所として活用して、寄り添い支援を実施してまいります。また、子供達と話し合うことで拠点を活用したこどもカフェ等の運営等を行い、子供たちの体験活動とともに地域とつながる活動を行います。こども支援は、保護者支援と両輪のため、相談窓口の実施も合わせて実施していきます。
6	団地ライフラボ@茶山台	孤立を生み出さない、地域の声・困りごとをみんなのアイデアで解決する関係づくり ～日本一多様な幸せが実現できる団地をめざして～	大阪府堺市南区	団地専属コミュニティワーカーチーム「団地ライフラボ@茶山台」が核となり、茶山台団地で活動している関係機関と連携し、持続可能な収益を確保し、人生の最後まで住みたくなる団地を自治力を高めながら生み出していくために、3つの柱で実施する。[柱1] 団地専属コミュニティワーカーとして看護師資格を有するスタッフを確保し、居場所×ストック活用事業を新しい団地の自治モデルとして開発する。/[柱2] 担い手育成・後期高齢者のICT見守り事業 NICT-情報通信研究機構と連携し国際無線通信規格「Wi-SUN」を活用し扉の開閉を通じた見守り、地域活動への参加の際への感謝ポイント制度を連動し新たな支え合い・新たな見守りモデルを開発する。/[柱3] ソーシャル団地整備事業から上記柱1・2を持続的にネットワークで支えるための全戸空き室の空き団地1F部分(現在、居住者のいない16棟・8部屋を想定)を改装する。空き室の利活用の方針と実施上の課題の検討を公社とともに作成し、空き団地1階部分の居住以外の利活用モデルを構築する。 以上を通じて、公社茶山台団地及びその周辺のエリアにて、社会的孤立状態によって、困窮や孤独に生活を脅かされ、またはそのリスクが高い住民が、地域や支援組織に「相談したくなる」状態をめざし、そのような住民同士の信頼関係育まれ、エンパワメントできる関係性を持ち、誰もが地域社会とつながり自らの将来に希望を持てる状態で地域社会に暮らし、お互いさんの気持ちで地域資源にアクセスしやすいただ住む団地から、新しい自治モデル「日本一多様な幸せが実現できる団地」と呼べる状態をめざす。
7	株式会社テクリコ	xR技術を通じて、誰一人取り残されない世界を実現する。	大阪府大阪市北区	社会参加の創出：申請事業では、1stステップとして、ひきこもりをはじめとしたメンタルケアが必要な人(以下、対象者)をメインのターゲットとし、VR/AR/MRを活用したコンテンツを体験し興味を持ってもらうことからスタートする。 事業に参加していくと、自然と当事者は社会参加ができるようになり、スキルを獲得しそのスキルを生かした職につける。また、コミュニティを作ることにより、安心した場を作り、なかなか勇気が踏み出せなかったような当事者にアプローチをしていく。 医療(特にリハビリ)の質の向上：リハビリテーションの目的は在宅に帰り日常生活を営むことである。そのためには、病院にしながら在宅を想定したリハビリテーションが必要である。しかしながら、現在はxR技術がなかったり、家屋環境をヴァーチャルで想像することが困難である。しかしながら、本事業でスキルを獲得した対象者がコンテンツ開発することができるようになることで、実際に家庭まで3Dスキャンをしに行くことで、今までできなかった個別性の高いリハビリテーションを提供することができる。
8	株式会社メディアワークス	地域の多世代交流の場所づくりと孤立防止 ～おじいちゃんおばあちゃんが子ども達を見守りながらお互いに勉強となる場所づくり～	大阪府大阪市浪速区	カフェという形態であるが、多世代が同時に利用出来き、高齢者、子ども達がともに交流し、勉強でき、遊べて、体験することができる場所づくりをしていく。地域の他団体の方と連系を取りながら、そこからまた新しいもの、新しい仕事を作っていくようにし、それを支援できる体制を整える。